

宮永岳彦記念美術館だより

2017 4 月

発行/ 秦野市立 宮永岳彦記念美術館 〒257-0001 神奈川県秦野市鶴巻北 3-1-2
TEL / FAX 0463-78-9100 <http://www.city.hadano.kanagawa.jp/s-gakushu/miyanaga.html>



常設展示室

宮永岳彦 悠久の美

2017年3月15日(水) ← 9月18日(月・祝)

展示作品より今月の一点

《暖》



背景に描かれた美しいステンドグラスから差しこむ光を受け、浮かび上がるように輝きをまとう二人の女性。

静寂な世界の中で物悲しげに憂いを含んだまなざしは何を想い、何をみつめているのでしょうか。

宮永は「何気なく病院で付けた画題だが、後で調べたら淋しいとか哀しいとかいう意味があるというんだなあ…不思議だね」と述べています。無理に退院して加筆した天使からも、6カ月後の逝去を暗示しているように思えてなりません。

宮永岳彦、最後の大作となりました。

油彩画 1986年 120F+120F

観覧料 ・一般 300円 (弘法の里湯利用者は100円割引)
・高校生以下、障害者手帳をお持ちの方と介護の方1名は無料

心に残る宮永作品

3月から小田急線全駅に「丹沢山塊ポスター」の復刻版として掲示された「丹沢山開きポスター」は、現在でも斬新なセンスが光り話題となっています。

宮永は当時、秦野から小田急線を利用し出勤していました。

「小田急線には馴染みがあり普通旅客で、私ほど続けて利用しているものはないのでは」と語っています。月日が過ぎても、宮永が眺めていた景色に宮永のポスターが貼られ、人々の旅情心をくすぐっています。



市民ギャラリーのご案内

入場無料

ふれあい写真クラブ 第18回作品

3月28日(火)~4月2日(日)
10:00~17:00 初日13:00から 最終日16:00まで

私達当クラブでは平成18年、写真大好きな面々が集って結成しました。写真技術の向上と楽しい仲間作りを行います。

秦野美術協会工芸部 作品展

4月25日(火)~4月30日(日)
10:00~17:00 初日13:00から 最終日15:00まで

今年で3回目の開催となります。工芸部員による作品を展示し皆様をお待ちしております。

2017.5月の市民ギャラリー展覧会の予定

秦野スケッチ会 (仮)

5月2日(火)~5月7日(日)

空代新一 青と白の世界 山岳写真展「世界の山々」
第三回ヨーロッパ・南北アメリカ・オセアニア

5月9日(火)~5月14日(日)

佐藤庄市 油彩・水彩画展

5月17日(水)~5月21日(日)

青藍水墨画協会 (仮)

5月23日(火)~5月28日(日)

*4月1日(土)より2017年10月分までの予約を受け付けています。

※没後30年記念 珠玉の美人画展※

今年の4月19日に、宮永岳彦が68歳で亡くなってから、30年を迎えます。

これを記念して、宮永の代表作である油彩美人画を12点、パステル画、表紙画など、華麗で優雅な女性像を集めて展示しています。

そのほかにも、ぺんてるくれよんのパッケージ原画や、小田急コーナーのポスターやNゲージなどを含め、約60点の多彩な作品をご覧いただけます。



桜坂(鶴巻温泉入口)

美術館へのアクセス



《隣接》 公営日帰り温泉 弘法の里湯 TEL0463-69-2641

4月の休館日: 3日(月)・10日(月)・17日(月)・24日(月)